buddycom 紹介資料

現場の働き方が変わる

デスクレスワーカーをつなげる ライブコミュニケーションプラット 「Buddycom(バディコム)」



現場コミュニケーションにこんな課題はありませんか?

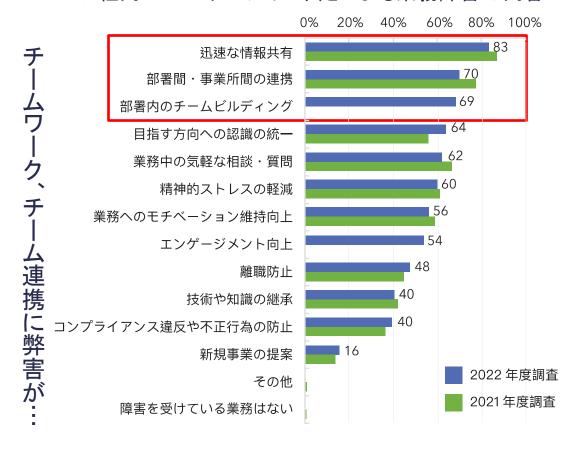


Q.自社の社内コミュニケーションに課題があるか



過半数の人が社内コミュニケーションに課題を感じています

Q. 社内コミュニケーション不足による業務障害の内容



※ 2022年3月 ProFuture株式会社/HR総研「社内コミュニケーションに関するアンケート2022」 https://www.hrpro.co.jp/research_detail.php?r no=328



#現場を走り回って、 人を捜している

#全体へ周知するのに、 時間が掛かってしまう

#いちいちスマホを開いて確認・操作するのは面倒

#伝言ゲームが発生し、正しく伝わらない

そんなお悩みを



が解決します!

#文字での コミュニケーションだと、 ニュアンスを伝えにくい

#お客様を待たせてしまう

#メールやチャットで通知が来ても、 重要なのかどうかわからない #作業を中断して、 確認しなければならない

#結局、 電話してしまう



デスクレスワーカーをつなげる ライブコミュニケーションプラットフォーム















Buddycomはインターネット通信網(4G,5G,Wi-Fi)を使用した音声・映像のPTT(プッシュトゥートーク)※により、チームのリアルタイムコミュニケーションを実現します。

※ Push To Talkの略。無線機やトランシーバーのように、ボタンを押している間だけ、話せる機能のこと。





Enterpriseをはじめ

800社以上の取引実績

大企業から中小企業まで、全ての業種でご利用いただけます。

【ご導入企業の一例】























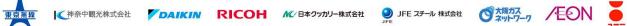










































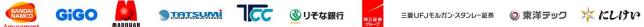






































※ HPから転載

そんな課題を解決するBuddycomとは



Apple社が認める品質。Apple Mobility Partner Programに認定されています。

- ・ 世界で厳選された約60社のアプリ
- ・ 日本で厳選された約20社のアプリ

全業種の課題解決ができるアプリとして、またグローバル提供ができるアプリとして認定されているのは、 日本ではBuddycomのみとなります。





Buddycomが選ばれる理由



Buddycomはデスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム。

そんなBuddycomだからこそ、

現場のみなさまが求めていることに、真摯に向き合っています。



Buddycomの強み

かんたん

国籍•人種•年齡 に関わらず、 誰でも使える

間違わない

操作ミスや 想定外の動き が起こらない

速い

刻々と変わる状況 に対応できる 情報共有のスピード

Buddycomで得られる効果



Buddycomを効果的に活用することで、さまざまな効果を得ることが可能です。

デスクレスワーカーの移動・伝達・確認業務を削減し、集中すべき業務の遂行に貢献します。

操作が シンプル だから 音声・映像をワンタップで メンバーに送信し、ストレスない コミュニケーションへ 機能 1タップで会話 周辺機器

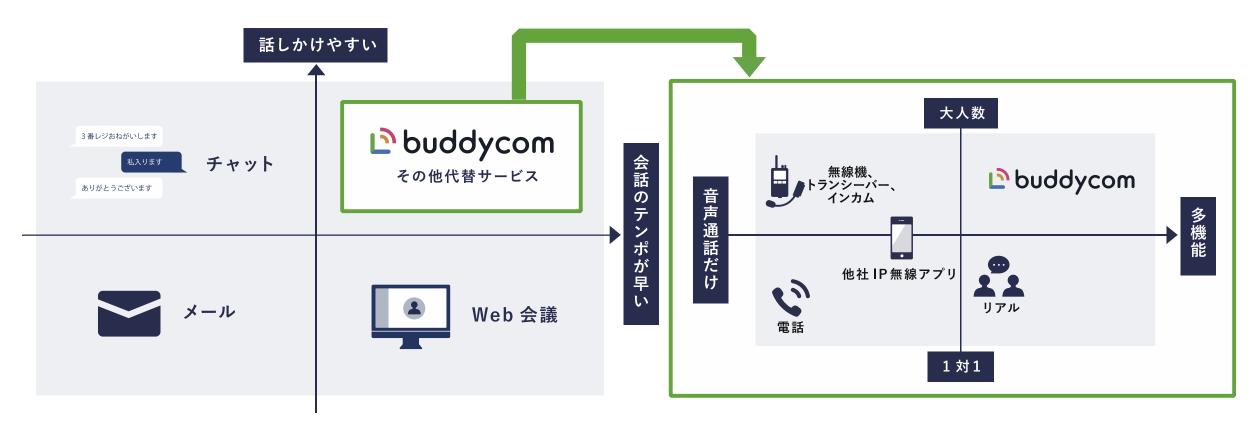






他のコミュニケーションツールとなにが違うのか?





- ✓ スマホを開かなくても、確認できる
- ✓ 常時接続だから、すぐに話せる
- ✓ シンプルだから、かんたんに使える
- ✓ 音声だから、話しやすい

Buddycomだから、

- ✓ 数百人・数千人でも運用できる
- ✓ テキスト化や翻訳、映像配信もできる
- ✓ セキュリティも安心
- ✓ 初期費用なし、免許も不要

Buddycomの主な機能



音声通話



● グループ通話、双方向通話、マルチグループ受信

- ・ボタンを押すだけでグループのユーザーへ一斉に発信できます。
- ・無線機と違い、相手の終話を待たずに発信できる双方向での通話も可能です。
- ・複数グループの会話を受信することもできます。

● メリット

話すまでのステップが少ないので、不明点や確認したいことがすぐに誰かに聞けるため、現場で働く方の不安が軽減されます。

ライブキャスト(映像共有)



● 映像共有+音声通話

- ・現場の状況をライブ映像で共有しながら会話ができます。
- ・高画質な映像を低遅延で複数人と共有できるので、現場の遠隔支援に活用できます。

● メリット

音声や画像だけでは伝えにくい情報でも、映像を見せながら会話することで、正確な情報共有を実現します。

チャット



● 音声テキスト化、履歴再生、定型文、翻訳

- 話した内容が即座にテキスト化されます。
- ・話した内容は自動で保存されるため、後から再生できます。
- ・定型文を10個まで作成できるので、定期的なアナウンスなどに 便利です。
- ・複数言語への同時翻訳ができるため、多国籍な現場でも通訳を介さず情報共有できます。

● メリット

聞き逃したことを後から何度でも確認できます。 多国籍な現場でも円滑なコミュニケーションを実現します。

MAP通話



● 位置の確認、範囲通話

- ・ユーザーの位置情報の確認ができます。
- ・MAP上にいるユーザーのうち、枠で囲ったユーザーだけに発話することができます。

● メリット

緊急時に現場に近いユーザーとのみ話したい、同じエリア内で 情報を共有し、連携を図りたいといったニーズに応えます。

大規模運用・セキュリティも安心な機能



エンドツーエンド暗号化(E2EE)



● 機能

1つのデバイス(たとえばスマートフォンやPC)でメッセージを暗号化し、送信先のデバイスでしか復号できないようにする技術。音声・チャット・映像・位置情報のE2EE対応を実現しております。

● メリット

万が一、通信やサーバーでの傍受がされても、解読できないため、機密性の高い現場でも安心して利用することができます。

企業間通信





契約が異なる企業のユーザー同士でも、1つのグループを作成し、グループコミュニケーションが図れる独自サービスです。

● メリット

同じ現場で働いている別会社、現場と本社でのコミュニケーションができます。また予実管理の都合上、部署ごとに分けて契約を行った場合でも、異なる契約ユーザー同士でコミュニケーションができます。

ディザスタリカバリ一対応



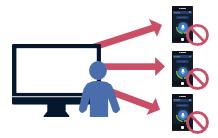
● 機能

サーバーは日本だけではなく、アジア、ヨーロッパ、 北米の4リージョンの構成で同時稼働しております。 障害発生時は自動で切り替え、24時間365日の サービス提供を確実なものとしております。

● メリット

災害などの発生時にも利用することができるため、 ミッションクリティカルな現場でも利用することができ ます。

アプリ設定の一括管理・機能制限



● 機能

管理コンソールでスマホアプリの設定や機能を 一括管理できます。ユーザーの予期せぬ操作、 設定変更も防止できます。

● メリット

たくさんのユーザー数でも、簡単な管理を可能とし、 社内統制の徹底ができます。

Buddycomの周辺機器



現場のニーズに合わせて、様々なアクセサリーを取り扱っております。

価格や詳細はこちら

	屋内向け	屋外向け	その他
有線	PTT専用 タイピンマイク MKI-P2S1 トグル イヤホンマイク MKI-G1	スピーカーマイク MKI-P4	
無線	Bluetooth イヤホンマイク Bbradio2 Bluetooth ヘッドセット Jabra Perform45	オプション品 スピーカーマイク AINA PTT Voice Responder オプション品 車載充電ホルダー AINA Vehicle Charger	PTTボタン ウェアラブルカメラ スマートグラス AINA PTT Smart Button EW-1 ** Realwear HMT-1**

※当社お取り扱いの機器ではございません。ご購入をご希望の場合は販売店へお問い合わせください。

Buddycomの周辺機器比較③





Buddycomの周辺機器比較(有線)



	スピーカーマイク MKI-P4	4ボタンコントロールマイク MKI-P1S1	PTT専用タイピンマイク MKI-P2S1	PTT専用ノイズキャンセル型マイク MKI-P5	トグルイヤホンマイク MKI-G1
製品画像					
発話方式(PTT ^{※1})	0	0	0	0	×
発話方式(トグル ^{※2})	×	0	×	×	0
対応OS(iOS)	0	0	0	0	0
対応OS(Android)	0	0	0	0	0
セットイヤホン		耳掛けイヤホン 遮音イヤホン	耳掛けイヤホン 遮音イヤホン	耳掛けイヤホン 遮音イヤホン	 イヤホン部分の取り外し不可
接続方式 ^{※3}	有線 (3.5mm イヤオトンシヤック)	有線 (3.5mm イヤホンシャック)	有線 (3.5mm イヤホンジャック)	有線 (3.5mm イヤホンジャック)	有線 (3.5mm イヤホンジャック)
防塵·防水	IP65	×	×	×	×
ノイズキャンセル	×	×	×	0	×
主な導入実績	大手電力会社様等	イオンリテール様等	大手鉄道会社様等	マルハン様等	小売を始めとした様々な業界

^{※1} Push To Talkの略。無線機やトランシーバーのように、ボタンを押している間だけ、話せる機能のこと。

※3 iOSの場合、有線で接続するにはライトニングケーブルの変換が必要です。 価格についてはAmazonサイト、またはパートナーへお問い合わせください。

^{※2} ボタンを押して通話開始/終了ができる機能。小売や介護などハンズフリーで作業しながら話したい業種で利用されています。

Buddycomの周辺機器比較(無線)



	BluetoothスピーカーマイクAINA PTT Voice Responder	ファンクションボタン搭載Bluetooth マイク MKI-P3	Bluetoothイヤホンマイク Bbradio2	Bluetoothヘッドセット Jabra Perform45	AINA PTT Smart Button
製品画像	(c)	O bandycon		R	
発話方式(PTT ^{※1})	0	0	0	0	〇 ※ボタンにはマイクなし
発話方式(トグル※2)	0	0	0	0	○ ※ボタンにはマイクなし
対応OS(iOS)	0	0	0	0	0
対応OS(Android)	0	0	0	0	0
セットイヤホン	_	耳掛けイヤホン 遮音イヤホン	_	_	_
接続方式※2	Bluetooth	Bluetooth	Bluetooth	Bluetooth	Bluetooth
防水•防塵	IP67	IPX3	IPX5	IP54相当	IP65
ノイズキャンセル	0	×	×	0	_
主な導入実績	JALエンジニアリング様等	JALスカイ様等	高級ホテル、介護業界等	大手自動車工場様等	_

^{※1} Push To Talkの略。無線機やトランシーバーのように、ボタンを押している間だけ、話せる機能のこと。

※3 iOSの場合、有線で接続するにはライトニングケーブルの変換が必要です。 価格についてはAmazonサイト、またはパートナーへお問い合わせください。

^{※2} ボタンを押して通話開始/終了ができる機能。小売や介護などハンズブリーで作業しながら話したい業種で利用されています。

Buddycomの周辺機器比較(カメラ)



	スマートグラス Realwear HMT−1 ^{※4}	Bluetoothウェアラブルカメラ EW−1 ^{※4}
製品画像	W	
発話方式(PTT ^{※1})	── ボイスコマンドによる 完全ハンズフリー発話	━━ ウェアラブルカメラには 発話機能なし
発話方式(トグル ^{※2})	── ボイスコマンドによる 完全ハンズフリー発話	—— ウェアラブルカメラには 発話機能なし
対応OS(iOS)	1	0
対応OS(Android)	1	0
接続方式※3	_	Wi-Fi
防水•防塵	IP66	IP65
ノイズキャンセル	0	×
主な導入実績	_	_

^{※1} Push To Talkの略。無線機やトランシーバーのように、ボタンを押している間だけ、話せる機能のこと。

^{※2} ボタンを押して通話開始/終了ができる機能。小売や介護などハンズフリーで作業しながら話したい業種で利用されています。

^{※3} Realwear HMT-1はAndroido搭載のためBuddycomを直接インストールして使用できます。

^{※4} 当社お取り扱いの機器ではございません。ご購入をご希望の場合は販売店へお問い合わせください

Buddycomのお客様導入事例



✓EON イオンリテール(株)

「人・物・場所を探す時間」 を大きく短縮し、 お客様サービスが向上



導入前の課題

人時不足の常態化と非効率な接客応対が課題

利用シーン

店舗内のスタッフに導入。

従来、店内放送で行っていた、レジの応援要請や、お客様からの質問に対して、その場で答えられない場合の確認などに利用。

導入による効果

- ■音声通話での一斉発信によって、全スタッフへの通知・確認ができるため、 お客様をお待たせする時間が減少
- ■離れたスタッフともスムーズに情報共有ができることで、 人・物・場所を探す時間が減り、従業員の移動距離は導入後に1/2まで削減
- ■録音した音声の聞き直しができるため、聞き取りにくい時などにも対応を可能に



(株)ツクイ

記録システムと併用で、 介護スタッフ1人あたり月間 15~20時間の効率化を実現



導入前の課題

スタッフ間の情報共有に課題があり、むだな作業や非効率な動線があった

利用シーン

介護施設内のスタッフに導入。

ケアを始める前、終えた後に連絡するなどの、 通常の連絡や情報共有、緊急時における職員間の連携を取る際に利用。

導入による効果

- ■音声通話は文字と違い、細やかなニュアンスや温度感を伝えやすく、 より簡単に、かつ正確で詳細な情報共有を実現
- ■お客様からの様々な問い合わせにも、Buddycomを使って情報連携することで、その場で回答できるようになり、お客様サービスの質の向上へ
- ■Buddycomで質問をすれば同僚がまるでいつも隣にいるように答えてくれる ため、スタッフに疎外感を感じさせず、スタッフの定着にも寄与

Buddycomのお客様導入事例





東海旅客鉄道(株)

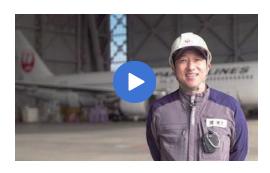
情報共有が迅速になり、 お客様対応力が向上



ATAN AIRLINES

(株)JALエンジニアリング

端末を集約したことで、 荷物を500g軽量化し、経費も 1台あたり数千円/月の節約



導入前の課題

従来利用していた携帯電話やPHSは1対1の会話となり、 クルー全員へ情報を共有するまでに時間を要してしまうこと、 そして伝達の途中で内容に微妙な差異が生じてしまうことが課題

利用シーン

運転士・車掌・パーサー・指令に導入。従来、乗務員室に設置されたPHSで行っていた、指令・乗務員間、指令を介して行っていた他列車との情報共有に利用。

導入による効果

- ■Buddycomには通話内容が時刻を含めて記録され、後から再生でき、 車外にも連絡が取れるなど、円滑なコミュニケーションを実現
- ■他列車にも指令を介さずに連絡できるため、遺失物や他列車の切符が 発見された等で連絡が必要な場合に、当該の列車への連絡が迅速に
- ■新幹線車内やホームでのお客様対応、車両故障対応が複数重なった時などに、 乗務員間で迅速に共有し、的確に役割分担することでスムーズな対応を実現

導入前の課題

IP無線機はサイズが大きく重量もあるため、整備士の負担になっていた。 また24時間運用の現場に対して、無線機の充電が追い付かず、 対策として台数を増したが、管理が難しくなっていた

利用シーン

整備士に導入。航空機の着陸後、離陸までの間に行う点検で、 お客さまの乗る飛行機の安全を守りながら、遅延を最小限にするよう、 整備士同士の連絡に使用。

導入による効果

- ■Buddycomはスマートフォンで動作するため、他の目的で使用していた端末と 集約することで、現場作業者の身体的負担を削減しながら、 経費も1台当たり数千円/月の節約に
- ■従来のIP無線機と比較し、当社の提供するスピーカーマイクは騒音環境でも 明瞭な通話ができ、情報共有の円滑化を実現

もっと便利に、働き方が変わるBuddycomの使い方



Buddycomと普段利用しているサービスを連携して、各サービスの通知情報などを音声で一斉通知することで、 業務効率を高めることができます。

API連携 マンサー デスクレスワーカー buddycom **→** カメラ ロボット 業務システム





SAFR® × Buddycom

AIが瞬時に顔認証を行い、人物の特定、 不審者検知など、リアルタイムに行います。

with Buddycom



Neos+Care × Buddycom



SOLUTION



介護施設に入居している高齢者の危険動作を 検知すると、Buddycomでつながるスタッフ全員に 検知内容が自動的に送信されます。

with Buddycom

| ネオスケア連携動画を見る ▶



Buddycomの連携実績例





Buddycomの料金プラン



Buddycomの料金体系は簡単明瞭。 初期費用や登録費用は一切かからず、すべてWEBで決済できます。

プラン詳細・お見積もりはこちら

オススメ

プラン	Livecast Enterprise	Livecast Lite	Talk Enterprise	Talk Lite
料金(ID,月当たり)	2,000円~	1,500円~	1,000円~	600円~
機能				
音声通話	0	0	0	0
映像配信	0	0		
音声テキスト化	0		0	
同時翻訳	0		0	
高セキュリティ	0		0	

※表示は税抜、年契約の料金

Buddycomのご利用に必要な構成・トライアル

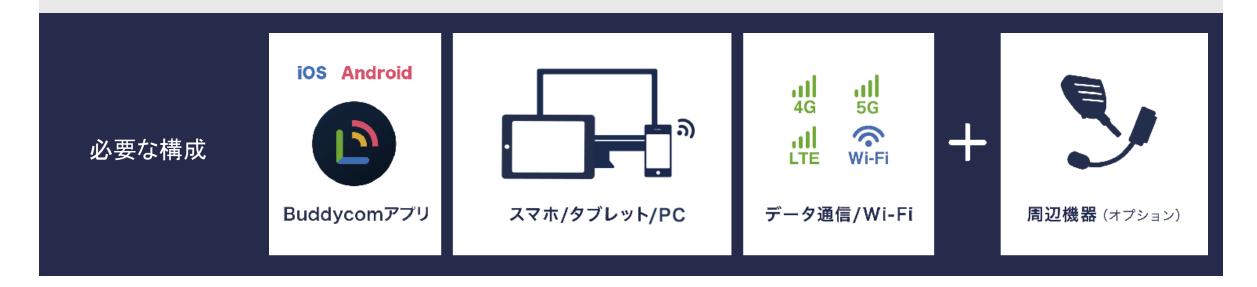




スマホがあれば初期費用もかからず、アプリをインストールするだけで簡単に利用開始。シンプル操作で導入コストもかかりません。 アクセサリー(周辺機器)を利用すれば、ハンズフリーで通話できます。

1ヶ月10ユーザー分を 無料でトライアルできます

今すぐトライアルを始める





他のコミュニケーションツールとの使い分け



現場でweb会議ツールを利用すると、、、 24時間365日稼働している現場で 通話開始までのステップを突発的にリアルタイムに行うことは工数が多く不便です。

	Buddycom	WEB会議ツール	チャットアプリ
マーケット	現場	オフィス	オフィス・個人
目的	チームコミュニケーション	会議	非同期コミュニケーション
使われ方	・ 音声と映像が中心・ 現場最前線のメンバー間でリアルタイムに情報共有・ 各々が連絡したいタイミングで情報共有する	映像と画面共有が中心映像や資料を見ながらの打ち合わせ決まった時間にメンバーが揃ってから開始	・ テキストが中心・ 業務中にスマホやPCを操作できるメンバーが使用・ 報告や告知等、リアルタイム性の低い連絡が中心



Buddycomはワンプッシュでいつでも情報を発信できます。



他のコミュニケーションツールとの比較



運用比較	Buddycom	WEB会議ツール	チャットアプリ
簡単	発話は連携するマイクの ボタンを押すだけ音声は自動で受信	利用開始までの操作が複雑(会 議ルームの作成、入室、ミュート 操作等)	・ スマホ、PC操作に慣れていない 人にとって文字入力は難しい
間違わない	・ ボタンを押すだけで発話可能・ シンプルな操作で緊急時でも間 違いが起こりにくい	利用開始までの操作が多いミュートに気づかず声が届いていなかったというミスも	緊急時など急いでいる状況下では文字の打ち間違いも文字だけだと伝わらないニュアンスもある
やりとりが 速い	 スマホを取り出す必要がない 音声なので1分1秒を争う現場で 迅速にやりとりできる 無線機と違い相手の終話を待た ずに会話ができる 	 現場ではスマホ操作はできない 利用開始までの操作に時間がかかりすぎる 回線状況によっては途切れたり、 誰かが抜けたりする 	 現場ではスマホの操作はできない スマホが開けないと内容が確認できない 複雑な内容、状況を伝えようとすると文字数も多くなる

Buddycomは、リアルタイムな情報共有が必要な状況において、 簡単・間違わない・速いの3拍子が揃ったコミュニケーションを実現します

他社の専用機との比較



無線機に投資し、同じ機能をずっと使い続ける時代は終わりました

	Buddycom	特定小電力 トランシーバー	簡易無線	IP 無線機	MCA無線	業務用無線
導入コスト 初期費用	0円	数千円~1万円	2万円~10万円	5~15万円	15~25万円	高価 (設備による)
ランニングコスト	600円~/月)	0円 (耐用年数1~2年)	0円 (耐用年数2~3年)	1,800円~/月 (2年~7年契約必須)	2,000~3,000円/月	設備による
利用範囲 (距離)	無制限 (インターネットの 利用範囲)	〜1km 視界が届く範囲 (遮蔽物に弱い)	〜5km 視界が届く範囲 (遮蔽物に弱い)	日本全国 (携帯電話の利用範囲)	十数km~日本全国 (契約範囲次第)	十数km ~ (設備による)
免許・認可等	不要	不要	一部必要	不要	必要	必要
グループ数 (チャンネル数)	無制限 (運用実績2,000)	9~47	30,35,65	制限あり 255等	制限あり	制限あり 周波数の割当による
セキュリティ (混信・盗聴)	○ 暗号化	×	△ 製品による	△ 製品による	△ 製品による	△ 製品による
強み	・現場特化の多くの機能 ・専用機が不要 ・高い拡張性	・安価	・安価	・シンプルな操作性	・シンプルな操作性	・業種ごとに 専用の周波数
弱み	・スマホが必要	・壊れやすい ・利用範囲に制限あり ・混信、傍受されやすい	・利用範囲に制限あり ・拡張性は無い	・高価 ・専用機が必要 ・拡張性は無い	・高価 ・専用機が必要 ・端末が固定されている	・設備投資が必要であり 非常に効果
その他	・柔軟な機能追加 ・月額契約も可能	・1~2年で故障 ・混雑場所では混信 ・グループ数が少ない		・長期利用が必要 ・レンタルもあるが高い	・人口集中エリアしかカ バーしていないので利用 できない場所がある	・専用周波数は 公共機関のみ利用可

他社のIP無線アプリとの比較



	Buddycom	A社	B社	C社
料金プラン(月)	音声のみプラン: 660円~ 映像共有プラン: 1,650円~	ふ プラン①: 1,320円 プラン②: 2,750円	♪ プラン①:1,100円 プラン②:非公開	プラン①: 0円 プラン②: 539円 プラン③: 924円
開発元	日本(自社開発)	一 不明	海外製	不明
大規模実績	800社以上 エアライン等、実績多数	一部あるものの、人数制限が あり小規模中心	公開事例ほぼなし	公開事例なし
グループ通話	人数無制限 2,000名の実績あり	▲ 最大:30~50名	最大:30~500名	1,000名(実績不明)
チャット機能	チャットあり テキスト化あり	チャットあり。アプリで録音不可。 テキスト化あり	チャットあり テキスト化は無し	チャットあり テキスト化は無し
映像PTT ^{※1}	映像共有プランで利用可能	機能なし 	プラン②で利用可能	 機能なし
周辺機器 (イヤホンマイク等)	利用シーンに合わせ、 日本音響メーカーと共同開発	少ない。特定の専用機のみで 用途が限られる	海外製の周辺機器を展開	少ない。アプリへの最適化なし
他社サービスとの連携	Apple、Cisco等、 多くの会社と連携	少ない	なし	なし
その他	2015年9月よりサービス提供、大規模実績 多数、どのアプリよりも簡単に使える	人数制限があり、小規模利用中心、使い 方が難しい	大手企業が販売中、実績ほぼ非公開、 周辺機器は全て海外製	実績が非公開、WEBサイト情報不十分

※1:リアルタイムに映像を配信しながらグループ通話できる機能。

機能一覧



	機能	説明
	グループ通話	通話ボタンを押してグループ内のユーザーへ一斉発信ができます(1グループあたり2,000ユーザー同時発信を検証済み)。 通話モードは、以下から選択できます。 ・単方向:通話ボタンを押して発信できるのは1人だけです。他のユーザーは発信が終わるのを待つ必要があります。 ・双方向:後述します。
	個別通話	指定したユーザーだけに発信ができます。
	双方向通話	複数人が通話ボタンを押して同時に発信ができます。(電話のように音声が重なって話せます)
	マルチグループ受信	他グループの会話を複数同時に聞くことができます(最大8グループ)
	電話発信	ユーザーの電話番号が登録されている場合、Buddycomアプリから、電話アプリを起動します。端末のアドレス帳に電話番号を登録する必要がなくなり ます。
	通話履歴の再生	サーバーに保存された通話データを、後で再生することができます(保存期間は通常1日)
音声通 話機能	履歴保存期間24時間	音声・テキスト・画像・動画データを24時間保存できます。
סט אעוינום	チャット	テキストや画像を送受信することができます。受信したテキストは音声で読み上げます。
	位置情報の確認	グループ内のユーザーの位置情報を確認することができます。
	MAP通話	MAP上の範囲内にいるメンバーに一斉発信ができます。
	企業間通信	複数企業・組織間での通信ができます。
	強制起動	対象のグループに所属するユーザーのBuddycomアプリを強制的に起動します。
	2段階認証	ログイン時、ID、パスワードに加え、メールアドレス or TOTPで認証します。
	かんたんログイン	IDとパスワードを使用することなく、URLをタッチすることでログインします。
	定型文送信	事前に設定した定型文をグループに送信できます。

機能一覧

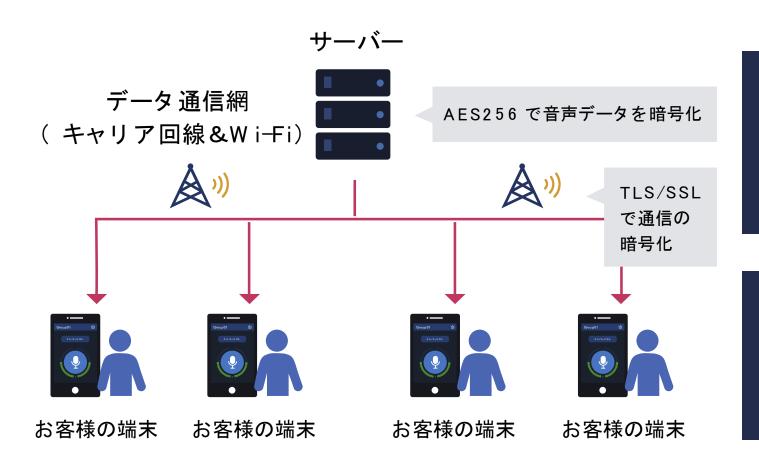


	機能	説明
映像配信 機能	ライブキャスト	現場の状況をLIVE動画で共有しながら、グループ通話ができます。
	音声テキスト化	通話した音声がテキスト化されます。
	トランシーバー翻訳	通話した音声が設定した言語に翻訳されます。(グループメンバーが各々言語設定可能)翻訳したテキストの読み上げができます。
	動態管理	管理コンソール上で、グループ内のユーザーの位置情報を確認することができます。 ユーザーごとの移動履歴も表示できます(保存期間は通常 1日)
	アプリ機能の一括管理	Buddycomアプリの機能を、管理コンソール上で、一括管理できます。例)個別通話、ログアウト 企業の運用指針に合わせて機能をカスタマイズできます。
	アプリ設定の一括管理	Buddycomアプリの設定を、管理コンソール上で、一括管理できます。例)サウンドボリューム設定 利用者自身が設定する手間を削減でき、また意図しない設定変更を防止できます。
	サブグループ	グループ内で通話できるユーザーを制限できます。例)バス会社やタクシー会社などで、車両同士は通話不可にさせるとき有効です。
エンター プライズ	テキストデータの グループ間転送	グループ内のテキストデータを事前に定義した他のグループへ転送できます。例えば、定型文送信と組み合わせ、緊急時は、管理者のグループ ヘアラート(テキスト)を送信できます。
機能	エンドツーエンド暗号化	通話データをエンドツーエンドで暗号化します。現在通話データ以外は対応していません。 本機能を使用すると、音声テキスト化、パラレル翻訳を使用できません。
	管理コンソールへの ログインIPアドレス制限	管理コンソールへログインできるIPアドレスを制限します。
	監査ログ	管理コンソールで行った下記操作の監査ログを取得します。保存期間は2年間です。 ・ログイン (ログイン成功/失敗) ・通話履歴 (グループ通話/個別通話)の再生、ダウンロード
	SAML認証	業務利用のID、パスワードでBuddycomにもログインできます。
	履歴保存1か月延長	保存期間を1か月延長できます。
	外部ストレージ連携	データの保存場所をお客さま契約のBOXやDropbox等に変更することができます。
	アプリ連携	SlackやTeams、WebexTeams等にBuddycomのデータを自動転送します。

セキュリティ



グローバル標準の規格で通話を守っていますので、安心してお使いいただけます。



音声データの暗号化

音声データは、グローバル標準の規格であるAES256で暗号化して保存しています。 他社が再生することはできません。

通信の暗号化

通信は、銀行のオンライン取引でも使用されているTLS/SSLで暗号化しています。 他社が傍受することはできません。

よくある質問



Q:通話範囲は、どのくらいですか?

A:インターネット(3G,LTE,4G,Wi-Fi)を利用するので、インターネット通信が届くエリアであれば、世界中どこにいても利用できます。

Q:バックグラウンドやロック画面でも使用できますか?

A:はい、できます。音声を受信すると自動で鳴ります。発信は周辺機器をお使いください。

O:電話がかかってきた場合、どうなりますか?

A:電話優先となります。Buddycomの受信履歴は自動保存されますので、後から確認してください。

Q:通信量の目安はありますか?

A: 通話-> 1分間の連続通話で、約500KBです。1時間の通話を1ヵ月行った場合、約1GBとなります。 ライブキャスト-> 1時間の配信で、約1GBです。

Q:連続通話した場合のバッテリー持ちはどのくらいですか?

A:端末のバッテリーに依存しますので、端末ごとに異なります。右の表は参考値です。 ※IP無線機のバッテリー持ちは製品ごとに違いがありますが、約10時間~20時間になります。 送信5:受信5:待ち受け90の比率で使用した場合の目安時間

端末	連続通話時間	連続待機時間
iPhone8 (iOS14.4)	約7時間	約18時間
iPhone11(iOS14.6)	約16時間	約52時間
Pixel 3 XL (Android11)	約15時間	約57時間

会社概要







会社名 株式会社サイエンスアーツ

所在地 東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR渋谷ビル5階

代表者 代表取締役社長 平岡 秀一

設立 2003年9月19日

資本金 5,000万円

ミッション 世界中の人々を美しくつなげる

事業内容 デスクレスワーカー※をつなげる

ライブコミュニケーションプラットフォーム

「Buddycom(バディコム)」の開発・販売

Buddycomリリース 2015年9月

※デスクレスワーカーとは机の前に座らない最前線で活躍する労働者のこと。 農業、教育、ヘルスケア、小売、ホスピタリティ、製造、輸送、建設などの産業に従事しております。 2003年創業。

当社代表である平岡が、高齢の父親がスマホでメールしている際、キーボード入力に苦労している姿を目の当たりにして、「複数人ともっと簡単にコミュニケーションできないか」と問題意識を持ち、音声で即時のコミュニケーションを可能にしたいと考えたことがサービスの開発のきっかけ。

開発まで多くの年月を費やし、2015年リリース。

2021年現在、JALグループ、JR東海グループ、イオングループなど、多くのお客さまに支えられ、Apple社の支援を受け、世界中へのサービス提供基盤を展開。